



箕輪進修高校 進路指導室

2012. 10. 29

3, 4年生用 No.53

親の思いと現実

先日ある生徒の親から担任の先生に「子供の就職の内定をもらったが、親としては断りたい」といった趣旨のお話があったようです。結果的にはそこに行くことになりました。企業を受験の際は親の承諾書を出してもらっているはずですし、少なくとも内定した生徒は学校推薦で行った以上断るときは、学校長が相手事業所にお詫びに出向かなくてはなりません。それだけ学校としての責任が問われます。

そのほかにも子供がこれから見学に行こうとする会社に対し「もう少し何とかならないのか」という親の声も聞こえてきます。

今年就職がきわめて厳しい状況であり、周辺の高校ではすでにほとんどが内定し数人が残るだけという状況の中で、本校ではまだ就職未定の人が25日現在44人います。ただし現在結果待ち、見学中等が十数名おります。就職支援員さんが毎日必死で企業周りをし求人開拓をいただいていますがいっこうに求人が出てきません。特にここに来て世界的経済不安により先行きの見通しが立たず、**求人が一気に冷え込んでいます**。年明けまでは厳しいかもしれません。

進路の係としてももう少し何とかならないかと思いますがどうしようもありません。生徒本人にしてももう少し別の会社が無いかと思うでしょうし、まして親から見れば同様の思いをされるでしょうが、何ともしようのない厳しい現実があることを是非ご理解いただきたいと思います。

就職支援員制度は今年12月いっぱいまで終わりでしたが、特に厳しい状況の県内4校に再度支援員を配置することになり、**本校でも11月より2月末まで新たな支援員さんにおいでいただき企業開拓をお願いすることになっています**。もう少し待てば新たな求人が出てくるとは思いますし、出てもらわなくては困りますが、いつでもどんな企業からの求人が出るかわかりません。支援員の方はこの平らのめばしい会社のほとんどを何回も回ってきての今の状況です。あとは、それぞれが**どこまで我慢し待てるか我慢比べ**ということになります。特に保護者の皆様には今の厳しい状況を是非ご理解いただきますようお願いいたします。



失敗している、
こういうのは、
挑戦していることだ。
けれど、

失敗ばかりしている、
こういうのも、
場合によっては、
学んでいないことも
あるかもしれない。

失敗もするけど、
成功もしている。

人間が成長するには、
そんな状況が、
ベストに思える。

大きな目標を
もちながらも、
そこまでの道のりを
ちよつと小さい目標に変えて、
そこで成功と失敗を繰り返し、

ちよつとずつの進歩を
実感しているほうが、
人は、前に進める。

挑戦すること。
けれど、いきなり、
大きな期待はしない。
挑戦を続けることが大切だから。
そうすれば、大きな目標が、
達成しそうな気配が見えてくる。

<http://www.mina-kawa.com/e/4726.html>

